



北海道北見支援学校

学校だより

第4号



令和6年3月22日（金）発行

教育目標：一人一人の児童生徒が自立し、社会参加するための教育を目指す
☆生活する力 ☆協力する力 ☆はたらく力 ☆とりくむ力

「今年度の教育活動に感謝申し上げます」

校長 坂 本 清

少しずつ陽ざしに暖かさを感じるようになり、春の訪れを間近に感じる頃となりました。保護者の皆様、地域の皆様には、今年度一年間の教育活動へのご理解とご協力に心から感謝申し上げます。

また、過日、高等部、小学部・中学部の卒業式が執り行われ、卒業生が次のステージへ巣立っていくことができました。これまでの学校生活で学んだこと、得たことを自分らしく発揮しながら、新しい仲間とともに充実した日々を歩んでほしいと願っています。

さて、昨年末に行った学校評価へのご協力ありがとうございました。この度、今年度の結果と自己評価分析については本校のwebページに公開しています。是非ご覧いただきたいと思います。

学校評価は1年間の学校運営について振り返りを行う機会となります。学校職員と保護者それぞれにアンケート方式で調査を行いその集計をもとに、今年度の教育活動を検証し、学校運営の改善と発展を目指す取り組みです。

今年度の学校評価からは、本校職員の児童生徒に対する言葉遣いや態度について「できている」の評価が高かったことや、登下校の際に利用されているスクールバスについて安全運行への評価が高かったことが上げられていました。これらについては、肯定できる評価であり、今後も継続し続けるべきことと認識しております。

反面、保護者・教職員からも「できていない」が多かったのは、「学校の働き方改革」を意識し効率的に教育活動を行ったかという項目で、これについては、保護者の方々には、働き方改革の取り組みがあまり伝わっていなかったのではないかと感じられました。このことに限らず、学校での取り組みをご理解いただくための情報発信の大切さを再確認し、教育活動や学校での取り組みをよりわかりやすく伝えることが今後も課題と認識しております。

また、教職員にとって働き方改革は、取り組みをとおして時間外勤務の削減は少しずつ取り組んでいたものの、負担感が変わっていない印象があることがあげられています。今後もこの取り組みは続けていきますが、私は学校の働き方改革の目的はよりよい授業をするために子どもたちと向き合う時間をどのように作るかが大切と思っています。効率よく業務をすすめることは大事ですが、超過時間だけを意識するのではなく、どのような授業をするか、やりがいを感じる取り組みにつなげるにはどうすべきか考える事が必要と思っています。

学校評価を活かしながら次年度に向け本校は、子どもたちが学ぶことを楽しみにできる「楽しい学校」であり、皆が「やりがい」をもって取り組める学校を目指していきたいと思います。そして、学校の中だけではなく、地域の方々と「つながる」学びの機会を大切にして、子どもたちを育む教育を今後も進めてまいりたいと考えております。

次年度も、保護者の皆様、地域の皆様とともに、子どもたち一人一人の社会参加と豊かな未来につながる教育を進めるため、皆様のご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。



小学部 3 学期の学習の様子

大雪が降り、光庭（アリーナ隣の庭）に大きなイグルーと小さな雪山が誕生しました。小さな庭なので、学部、学年に分かれ、「あそび」の学習の時間に利用しました。イグルーの中は広く、雪と氷でできた椅子があるので雰囲気味わいながらゆっくりとすることができました。しかも出入口が2つあるので、何度も出たり入ったりすることができました。小さな雪山にはそり滑りができるようにコースがついており、順番に交代で滑りました。他にも「雪の中で鬼ごっこ」、「スコップであちこち掘る・雪を掛け合う」、「雪玉を投げ合う」、「雪の中に埋もれる」、「バケツに雪を詰めて固めた物を積み、お城を作る」、「協力して雪だるまを作る」、それぞれ工夫しながら、雪国ならではの遊びを堪能しました。（文責：福田）



中学部 3 学期の学習の様子

コロナウイルス感染症、インフルエンザB型もなんのその。負けずに取り組んだ3学期でした。1月は「体育の授業」で歩くスキーを実施しました。ウェアを着たり、スキー靴やスキー板を履いたりするなど、最初はうまくいかないこともありましたが、少しずつ雪の上を歩く感覚を思い出し、築山からなめらかに滑る様子も見られるようになりました。また、そりを引いて築山に登り、斜面を勢いよくそり滑りする活動も楽しみました。2月には「書道展」。各自思い思いの字を書き綴りました。中学部だけでなく、全学部の児童生徒の作品が図書ホールに揃うと壮観でした。頑張る3年生の受検のために1、2年生が絵馬を送りました。全員合格に皆安堵しました。3月の卒業式前には祝う会が行われました。

「ありがとう3年生！」この行事で1、2年生は準備や係の仕事を務め、また一歩成長した姿を見せてくれました。

3年生は高等部入学への期待を胸に、残りの学校生活楽しんで卒業しました。

（文責 幸山）



高等部 3 学期の学習の様子

冬休み明け、高等部はスキー学習から始まりました。冬休み中に保護者の方にも御協力いただいたグラウンドのスキーコースで汗を流したり、築山を直滑降で勢いよく滑ったりして冬のスポーツを楽しみました。2月に入ると、リーダー選挙に向けての活動が始まります。今年度はリーダー候補、副リーダー候補ともに4名の立候補があり、お昼休みの演説会でそれぞれがこんな高等部にしたい！という熱い思いを一生懸命に伝えていました。選挙当日は、北見市の選挙管理委員会からお借りした本物の投票箱と記載台を使用し、自分がこの人なら・・・と思う立候補者に一票を投じていました。

3月に入ると、卒業モードに。高等部のワークスペースに設けられた「ありがとうボックス」には、卒業する3年生への気持ちのこもったありがとうのメッセージが100通以上も集まりました。学校便りが届く頃には、3年生は卒業していますが、在校生は、3年生の優しさやたくましい姿を目指して、4月からの学校生活も生き生き過ごしてくれることでしょう。（文責 加治）



転出・退職される先生方からのご挨拶



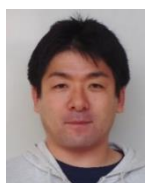
教頭
三浦 基弘

この度、美深高等養護学校あいべつ校に赴任することとなりました。教頭として初めて赴任した本校での3年間の経験は忘れることの無い思い出となりました。

心残りは、3年間のうち最初の2年間はコロナ禍のため行事等も制限されることも多かったこととコロナ禍の後も以前と違ったやり方で取り組むことが多く、そのためコロナ禍前の北見支援で行われていたであろう北見支援ならではの特徴的な取り組みを経験することができなかったことです。

次年度は、コロナ禍が終わり2年目となり、さらにかつての姿を取り戻すことがあるかも知れません。皆様のご活躍をご健康とお祈りいたします。

大変お世話になりました。ありがとうございます。



小学部
佐々木 正祐

北見支援学校では、7年間お世話になりました。元気で、笑顔いっぱい、運動が好きで、学校が好きで、勉強が好きで、給食が好きで、人と関わることが好きな子供達と毎日を過ごせたことが本当に幸せでした。ありがとうございました。

また、保護者の皆様には、たくさんのご理解とご協力をいただき、支えていただきました。本当にありがとうございました。

4月からは遠くの地（福島県）で勤務します。北見支援学校で学んだことを、また新天地で活かしていきたいと思います。



小学部
金井 みゆき

7年前に小学部6年生だった子ども達が高等部の卒業を迎え、時間の早さを実感しているところです。この7年、教師人生初の卒業担任をさせてもらったり、もう孫では？と思うような可愛い1年生に関わらせてもらったり、とても濃い時間を過ごすことができました。体力的にはちょっと厳しさを感じることもありましたが、子ども達と汗だくになりながら過ごす毎日は、私の元気の源で、若さ？を保つ秘訣でした。保護者の皆様には、日々、支えていただき感謝しかありません。お母さん方とお話するのも楽しい時間で、癒やしの時間でした。

大好きな人達が居る北見支援を離れるのは寂しく思いますが、子ども達の今後の成長と活躍を楽しみに、4月からは、北見市立中央小学校に赴任し、新しく出会う子ども達を笑顔にできるよう頑張っていきたいと思います。7年間ありがとうございました。



小学部
沼尾 絵美

4年前、ちょうど新型コロナウイルスが流行し始め、北見市内でクラスターが発生したというニュースが出た時に、北見支援学校へ転勤することになり、不安いっぱい道南からこの北見市に来たのを覚えています。でも、この学校で子ども達と過ごしていくうちに、その不安も消え、子ども達と過ごす毎日がとても楽しくて、あっという間に4年が過ぎてしまいました。

私は、受け持っている子ども達と過ごすことはもちろん楽しかったのですが、この4年間受け持った子ども達が、低学年から高学年になり、できなかったことができるようになっていたり、「沼尾先生!」と遠くから元気に声を掛けてくれたり近づいてきてくれたりして、日に日に成長している姿を見ているのもとても嬉しく楽しかったです。保護者の皆様におかれましては、至らぬ点ばかりの私に、温かい言葉や励ましの言葉をかけてくださり、心より感謝しています。ありがとうございました。



中学部
能藤 隆

北見支援学校で過ごした3年間、素直で一生懸命な子どもたちが成長していく姿を見ることが嬉しくて、その成長に何度も感動をもらいながら、かけがえのない時間を過ごすことができました。

また、保護者の皆様には、様々な場面でたくさんのご理解・ご協力をいただき、支えていただきました。本当にありがとうございました。

4月からは紋別養護学校ひまわり学園分校で勤務します。北見支援学校で経験した実践を、また新天地で活かしていきたいと思います。



中学部
桜井 美来

北見支援学校に赴任してから5年が経ちました。最初は中学部2年生（今年度の卒業生）の学級で忙しくも学びのある日々を過ごしました。2～4年目は高等部で、高3の担任を経験させてもらい、彼らの進路について深く考え勉強させてもらいました。高等部の生徒との会話が何より楽しい時間でした。5年目の今年は、中学部1年生。可愛くて面白い生徒たちに囲まれてたくさん笑わせてもらいました。

北見支援学校での5年間、様々なことがありましたが、同僚や生徒たちに恵まれて今日まで頑張ってきたことを感謝しています。4月から北見を離れますが、ここで学んだことを次の場所でも活かせるように頑張りたいと思います。これまで本当にお世話になりました。みなさんお元気で～



高等部
神山 和仁

9年間大変お世話になりました。それまでは全日制高等学校の保健体育教諭として勤務しておりましたので、北見支援学校に着任した時にはとにかく分からないことが多く、児童生徒、同僚にも多くの迷惑をかけたことと思います。

着任してからの日々を振り返り、とにかく毎日楽しく働かせていただいたこと、そして多くのことを学ばせていただきましたことに対して感謝申し上げます。

北見支援学校は間違いなく素敵な学校です。児童生徒の皆さん、保護者の皆さん、仲良くしてくれた同僚の皆さん、本当にありがとうございました。



高等部
廣瀬 功

小学部で4年間、中学部で4年間、そして今年度高等部と、9年間お世話になりました。たくさん子ども達と、宿泊研修や見学旅行など泊を伴う学習に参加できたことが、一番の思い出です。今年度も高等部2年生の生徒と一緒にスカイツリーやお台場などを見学し、素敵な2夜を過ごす事ができて、幸せでした。ここ数年は、毎日の「消毒」で全校児童生徒のみなさんと広く顔を合わせる機会が多かったと思います。コロナ禍は落ち着いてきましたが、これからも毎日の健康管理に気を付けて、毎日元気に登校してきてほしいです。保護者の皆様にもご協力をいただくことが多々あり、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

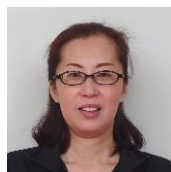


國松 こすえ

私は高等部所属で9年間お世話になり、この2年間はお休みをいただき、藤女子大学大学院で学んでまいりました。今年の卒業生と一緒に勉強できた最後の生徒です。

9年前、ただの家庭科教員であった私を、優しく受け入れてくださり本当に感謝しております。北見支援学校では、ありのままの自分で、日々皆さんとともに成長できたことが本当に幸せでした。生徒や保護者の皆さんから多くのことを教わり、それは教師としてだけでなく人間としての大きな気づきにつながったと思っております。

私はこれから北見の晴れ渡る広い空のような寛容さを目標に邁進する所存です。どうか皆さんも笑顔の毎日をお過ごし下さい！ありがとうございました。



栄養教諭
菅谷 優子

栄養教諭として長きに渡り勤務させていただき、大変お世話になりました。給食時間に大きな声で挨拶をしてくれて、元気に給食を食べてくれて嬉しかったです。そして皆さんが成長していく姿が何よりの励みになっていました。

このたび退職をいたしますが、北見市におりますので、どこかで会うこともあるかもしれません。そのときはお声かけください。

保護者の皆様、職員の方々、本当にありがとうございました。



養護教諭
柳町 怜那

あっという間の3年でした。養護教諭人生の第一章となる北見支援では子どもたちの素敵な笑顔と元気いっぱいのパワー、そして保護者の皆様の温かいお言葉に支えられ、私自身も「成長させていただいた」と言う感謝の気持ちでいっぱいです。このまま子どもたちともっと過ごしたい、成長を近くで見守りたいという気持ちですが、私の養護教諭人生 第一章は今年度で完結です。

この度北海道紋別養護学校ひまわり学園分校に異動することになりました。北見からそう遠くないので、またどこかでみかけたら、笑顔で声をかけてください。みなさんが健康で毎日をお過ごせることを心より願っています。北見支援で学んだことを胸に、養護教諭人生第二章も元気で笑顔いっぱい頑張ります。本当にありがとうございました。

【編集後記】

卒業証書授与式も無事終わり、新たなステージに上がる卒業生達はとても輝いていましたね！進級するみなさん、新年度から心機一転！ワクワクドキドキを楽しもう！卒業、進級おめでとうございます。

（文責：情報教育部 小瀬）